

# 工事記録写真の撮影手順

平成 28 年 12 月  
ホクレン施設資材部

## 目 次

	頁
撮影手順	2 ~ 6
撮影対象基準 別表 (1) ~ (2)	7 ~ 13
別表 (3)	14 ~ 15
別表 (4)	16 ~ 18
完成写真撮影基準 別表 (5)	19 ~ 22
別 図	23

## 更新の履歴

- ・平成元年制定
- ・平成8年改定
- ・平成25年4月改定
- ・平成28年12月改定

## 工事記録写真の撮影手順

### 1 目的

本書は工事工程、出来形確認及び工事完了等の工事記録写真の撮影及び整理に係る基本事項を定め、請負人が工事の経過及び施工管理、出来形・品質管理等を適切に記録することを目的とする。

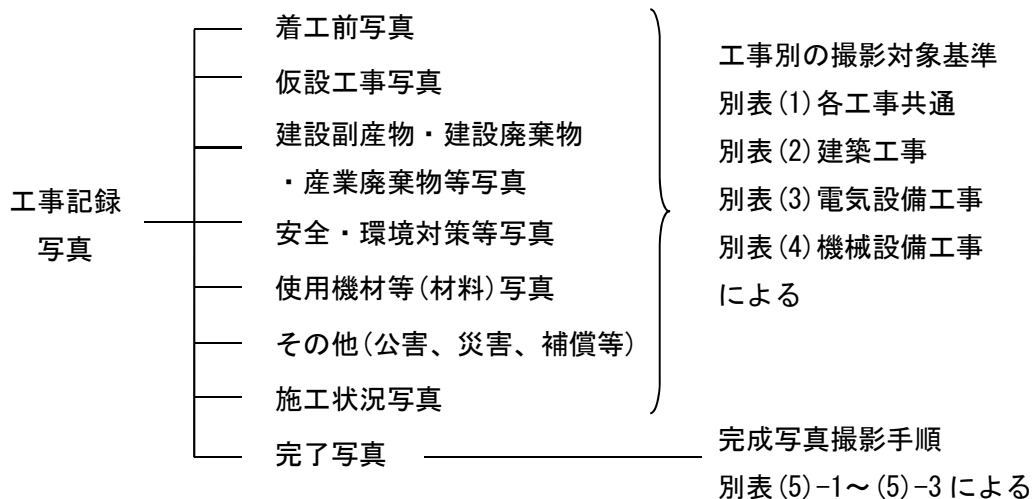
### 2 工事記録写真の役割と重要性

請負人は、工事記録写真が、工事の着工前から完了までの使用材料や施工状況を撮影することで、完成後不可視となる部位をはじめ、全ての施工経過が適切に実施されたことを証するものとして、次のような役割を持っていることを十分認識して記録しなければならない。

- a 工事経過の記録      どのように施工されたかを示す。
- b 使用材料の確認      どのような材料が使用されたかを示す。
- c 品質管理の確認      どの程度の施工精度で出来たかを示す。
- d 維持管理の資料      将来の補修等の検討利用資料として。
- e 問題解決の資料      完成後の問題発生時の原因究明資料として。

### 3 工事記録写真の分類

工事記録写真は、その対象によって次のように分類する。



#### 4 工事記録写真の撮影

##### (1) 撮影の方法

###### a 撮影内容

工事工程写真には、次の要素が確認できるように撮影する。

- ① 工程、加工の前後等
- ② 施工箇所、部位等
- ③ 工事種目、分類等
- ④ 撮影年月日
- ⑤ 施工状況、施工内容
- ⑥ 設計及び出来形寸法、規格、表示マーク等
- ⑦ 自主検査や社内検査等で立会・確認者がいる場合、  
その立会、確認状況

###### b 撮影方法

黒板の文字が認識できるように撮影する。

###### ① 黒板の記入

写真には、前記 a の撮影内容並びにその他監督員と協議して必要と認められる事項を表示した別図に示す黒板及び必要に応じてスケール等を被写体とともに写し込む。

###### ② 出来形等に係る主要寸法等の写し込み

撮影対象には必要に応じて基準線（下げ振り、水系等で示す）を設定し、出来形や規格値との誤差等を確認するためのスタッフ、スチールテープ、リボンテープ等による主要寸法の計測状況を被写体とともに写し込む。

機器仕様、製造所名（商標）、J I S等の規格が材料に印字されている場合は、その部分を拡大して撮影する。

##### (2) 撮影の対象等

###### a 工事着工前から完成に至るまでの工事工程全般を撮影するものとし、撮影対象等の基準は別表(1)～(4)に示すとおりとする。

また、製造請負工事についても同様とし、別表(1)～(4)の項目を基準として必要な工事工程写真を撮影すること。

なお、別表(1)～(4)によることができない場合は、監督員の指示を受けて内容を変更することができる。

###### b 改修、解体及び移設工事の場合は、原則、全ての施工部位・施工箇所等について着工・着手前の状況を撮影する。

###### c 工事現場と違う場所（工場等）で製造・製作・加工・組立される主要部材（鉄骨・プレキャストコンクリート・建具・製缶類）の撮影にあたっては、特に上記4-(1)の漏れが無いように注意すること。

- d 工事の完了写真は、完了状況全般を撮影する。  
その撮影対象等の基準は別表(5)による。  
また、製造請負工事についても同様とし、別表(5)を基準に撮影すること。
- e 次の場合は、撮影の全部又は一部を省略することができる。  
品質管理に係る写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管・整備できる場合は、撮影を省略することができる。

### (3) 撮影の留意事項

- a 撮影に係る工事担当者は、施工計画に基づき撮影の日時、方法、密度等を現場内に周知し、撮影時期を逸することが無いよう適切かつ的確に撮影を行う。  
工事工程上で、後日撮り直しが困難な工事にあつては、撮影後、早急に写真の良否又は記録状況を確認する。
- b 不可視となる部位については、後日、その施工状況等が確認できるよう、十分留意して撮影し、その出来形については、寸法を計測した目盛等が確実に読み取れるよう、特に注意する。
- c 撮影内容が複雑或いは分かりにくいと思われる場合は、必要に応じてその撮影内容に関係する設計図書や施工図等を添付するなど説明を加えること。
- d ある箇所の一部を拡大して撮影する必要がある場合は、まずその箇所の遠景を黒板を添えて撮影した後、拡大する部分を撮影してその位置が特定できるようにする。
- e 撮影する被写体が類似しているものは、その箇所が特定できるよう、番号等を表示する等の工夫をして撮影する。
- f 検査時に気象条件等のために不可視となる部位等（屋上防水、屋外給排水、外構工事等）が想定されるときは、その完了状況確認が写真のみによる場合を考慮し、完了状況写真は必要に応じて全景から詳細部分まで撮影するなど留意する。
- g 自主検査や社内検査での手直し及びその完了状況は必ず撮影し、特に完成時に不可視となる部位等については、後日、その確認が写真のみによることを考慮し、必要に応じて全景から詳細部分まで撮影漏れ等無いよう十分留意する。
- h イメージアップや創意工夫、高度技術については、その施工内容等を分かりやすく撮影するものとし、整理の際、必要に応じて説明を加えること。

## 5 工事記録写真の規格等

### (1) 撮影に使用する撮影器具等

撮影に使用する撮影器具等は次をとおりとする。

- a 撮影器具はデジタルカメラとする。

- b 必要な文字、数値等の内容が判断できる機能、精度を確保できるものとし、次に示す仕様を満たすものとしなければならない。

項目	仕様
総画素数	概ね 200 万画素以上
記録画素数	1600 ピクセル×1200 ピクセル以上
ファイル形式	JPEG
圧縮率	1/1>圧縮率>1/10 程度
記憶媒体	CD-R、DVD-R

(2) 写真の色彩、大きさの規格

- a データのプリントは、フルカラーで行い、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで5年程度、顕著な劣化が生じないものとして、必ずホクレン担当者に印刷鮮明度の確認をすること。  
(原則、インクジェットプリンターで普通紙は不可。)
- b 大きさはA-4用紙及び台紙に3枚が収まるものとするが、必要に応じて panoramax写真（つなぎ写真可）とすることができる。

(3) 工事記録写真の原本

- a 原本は記憶媒体に記録したデータとする。

6 工事記録写真の整理等

(1) 撮影内容の確認

- a 請負者は撮影データの内容を、速やかに確認し、整理する。
- b 撮影した写真は、各工程（工区分けされているものは各工区ごと）ごとに監理者へ提出して確認を受けた後、工事記録写真帳で整理する。

(2) 工事記録写真の整理

- a 撮影データを工種毎にフォルダを作成して、整理する。

7 工事記録写真の編集及び提出

(1) 工事記録写真帳の形式

- a A-4版カラープリントにより編集・整理したものとする。
- b 写真の編集方式は、原則、着工前の時点から各工種の工事工程毎に順次整理し、その後別表(5)による完成写真一式を綴る。
- c 工事区分が複数の場合（例：主体棟と付属棟、渡り廊下、A棟とB棟、建物と外構）の写真整理は、原則、それらの区分毎に別冊の写真帳にするなど、混同し

ないように整理する。

- d 別発注の工区、工事や追加工事がある場合、請け負った工事と別発注工事等との区分を写真に明記し、工事範囲を明確にする。

【 参考資料 】

1. 営繕工事写真撮影要領 平成 27 年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部
2. 営繕工事記録写真撮影要領 平成 21 年 8 月 北海道建設部建築局

撮影基準

別表(1) 各工事共通

工 種	項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考
共通事項	敷地内外の状況	敷地の状況	着工前の工事場所の現況を各方向から撮影する。 完成写真との対比を意識した構図で撮影する。 全体が解りにくい場合は、高所からの俯瞰撮影も考慮する。	2方向以上
		既設・近隣建物等	既設建物、工作物等は工事中に損傷を与えた場合等の証拠となるため、必要と思われる範囲を撮影する。	種類ごと
	障害物	埋設物等障害物と処理	障害物の現状形状、寸法、処理状況等を撮影する。	種類ごと
	建設副産物・建設産業廃棄物	廃棄物等の集積・分別	対象物の発生状況と敷地内での分別、収集、整理、集積状況を撮影する。	種類ごと
		廃棄物等の搬出	対象物の積込、搬出、運搬経路、受入先の状況、荷下ろし、計量等の状況を撮影する。	種類ごと
		処理施設等	再資源化施設、中間処理施設、最終処分場(直接最終処分の場合)の許可看板、施設名称を撮影する。	種類ごと
	工事現場管理	許認可標識等	建設業許可関係、建築確認済、労災関係成立、道路使用・占用許可等の表示板を撮影する。	表示板ごと
	使用材料	材料とその保管状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の規格、仕様、製造者名、商標、数量等を撮影する。</li> <li>材料の集積、保管状況を撮影する。</li> </ul>	種類、規格ごと
	解体及び改修・移設に伴う解体	着工前	施工完了後に施工比較が出来るように周囲の風景等を入れて遠景を撮影する。	2方向以上
		施工状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>人力解体・機械解体の状況が解るように撮影する。</li> <li>各工種工程別に撮影し、撤去状況が解るように撮影する。</li> <li>解体材の分別、整理、集積、積込、搬出、受入処分場等の処理に関しては、産業廃棄物等の例に依って撮影する。</li> </ul>	種類ごと
		完了	整地完了後に着工前と同一方向で撮影する。	2方向以上
	完成		別表(5)による。	



撮影基準

別表(2) 建築工事

工種	項目	撮影対象	手順及び注意事項	備考	
1	仮設工事	敷地内外の状況	敷地境界	敷地の境界、標識等の状況を撮影する。	箇所ごと
		ベンチマーク	全景	B.Mの位置、養生及び設計GLとの関係表示を撮影する。	2方向以上
		遺方	施工状況	設計GLとの関係表示、逃げ杭を撮影する。	2方向以上
			完了	遠景を撮影する。	2方向以上
	指定仮設等	足場管理	指定仮設、足場の設置状況を撮影する。	種類ごと	
2	(1)杭打地業	共通	搬入時	搬入状況を撮影する。	全本数
			杭材料・規格	杭の表示マーク、径、長さを撮影する。	種類ごと
			杭芯の確認	杭芯位置の状況を撮影する。	500㎡ごとに基礎種類ごと
			継手の施工	施工状況を撮影する。	全本数
			キャップ	杭穴のキャップの状態を撮影する。	杭径ごと
			施工状況	打設時の本杭は全本数を撮影とする。	全本数
			完了	墨出し後の完了状況の遠景を2枚撮影する。	500㎡ごと
	埋込杭 (認定工法)	試験掘削・支持層 確認	・支持層採取状況を撮影する。	・採取サンプルを地盤調査資料と対比した状態で撮影する。	全本数
			試験杭・本杭建込		
		根固め液・杭周固 定液材料	・材料・規格が判別できるように撮影する。 ・使用セメント量が解るように撮影する。	ロットごと	
		液の調合・計量	セメントと添加剤の調合量等の測定状態を撮影する。	ロットごと	
	打込み杭 (打撃工法)	試験杭	設計図書の深さ及び沈下量を得るまで打込む。	全本数	
		建込	建込み状況を撮影する。	全本数	
		記録	・最終貫入量及びリバウンド量の測定状況を撮影する。 ・全本数の打設状況と結果を記録する。	全本数	
	(2)切込・砂利 地業	転圧	施工状況	転圧の厚さと回数が解るように撮影する。	500㎡ごと
			完了	完了状況を撮影する。	500㎡ごと
	(3)捨てコンク リート	施工状況	完了	厚さ、幅を撮影する。	500㎡ごと
	(4)床下防湿層	防湿シート	材料	シート包装紙の材料規格を撮影する。	種類ごと
			施工状況	重ね代が解るように撮影する。	500㎡ごと

工 種		項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考
3	土工事	山止め	山止め材	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置状況を撮影する。</li> <li>矢板等の数量が確認出来るよう留意する。</li> </ul>	切梁1段ごと
			完了	完了状況を撮影する。	
		根伐	施工状況	直接基礎、ラップの場合は支持層が確認できるように撮影する。	500㎡ごと
			床づけ	転圧状況を撮影する。	
			完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>根伐深さを撮影する。</li> <li>完了状況を撮影する。</li> </ul>	
		埋戻し (盛土)	施工状況	転圧状況を撮影する。	500㎡ごと
			完了	完了状況を撮影する。	500㎡ごと
4	鉄筋工事	共通	材料の表示	種別ごとのラベル、ロールマークを撮影する。	規格、径ごと
			配筋	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類ごとの組立完了状況を撮影する。</li> <li>継手、定着、フック、スペーサ等の状態を撮影する。</li> <li>間隔、長さ等は全てスケール等を一緒に写し込む。</li> <li>色つきマグネット等を鉄筋に付け、径・方向別に識別できるようにして撮影する。</li> <li>完了状況が分かるように遠景を撮影する。</li> </ul>	500㎡ごとに 種類ごと  500㎡ごとに 2方向
			補強筋	杭芯ずれ補強、開口補強等の配筋状況を撮影する。	補強方法ごと
			圧接	圧接部のふくらみ、形状、軸心のくい違い曲り等に注意して撮影する。	200箇所ごと に5枚
			試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>圧設部のふくらみの測定等の外観検査を撮影する。</li> <li>超音波探傷試験の有資格者が判別できるように探傷の状況を撮影する。</li> </ul>	200箇所ごと に5枚
			基礎	ベース	ベース筋、はかま筋等の配筋状況を撮影する。
		地中梁		主筋本数、間隔の確認(端部、中央部)、スターラップ、幅止め筋の配筋状況等を撮影する。	種類ごと
		布筋		縦、横筋(配筋間隔)の配筋状況を撮影する。	
		躯体	柱筋	主筋(径・本数・配筋間隔)、フープ筋、ダイヤ筋の配筋状況、主筋の折曲げ・継手位置、柱脚定着長さ、頭部処理等を撮影する。	500㎡ごとに 種類ごと
			アンカーボルト	長さ、径を種別毎に撮影する。	種類ごと
				ねじ山の保護及びセット状況を撮影する。	種類ごと
			梁筋	主筋(端部、中央部)の径・本数・間隔・定着長さ、スターラップ、幅止め筋(配筋間隔)、吊上げ筋等を撮影する。	500㎡ごとに 種類ごと
		壁筋	縦・横筋及び幅止め筋の径・配筋間隔を撮影する。	500㎡ごとに 種類ごと	

工 種		項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考		
			床版筋	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦・横筋及び上・下筋の径・配筋間隔を撮影する。</li> <li>各設備の配管、スリーブ等取付後の全景を撮影する。</li> </ul>	種類ごと		
			階段	流し筋・段鼻筋・稲妻筋及び踊り場の配筋、階段筋の飲み込み、スラブとの取り合い等を撮影する。	各階ごと		
			屋上	<ul style="list-style-type: none"> <li>床版は躯体と同じ。</li> <li>ドレン廻り、パラペット、庇等の配筋状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと		
		5	コンクリート 工事 (1) 現場施工 コンクリート	型枠	型枠施工	柱枠、壁枠、床版枠、階段枠等の取付け状況を撮影する。	種類ごと
					建込み	断熱材打ち込みの場合は、規格・厚さ・設置位置・設置寸法が解るように撮影する。	種類ごと
					完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>枠幅寸法、建入寸法、全長を撮影する。</li> <li>支保工設置後の状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと
コンクリート	試し練り			現場練りコンクリートの場合は、材料及び試し練りの実施状況を撮影する。	試し練り立会 いの都度		
	受入検査			受入検査の採取及びスランプ値・塩化物量・空気量等の測定状況を撮影する。	受入検査の都 度		
	強度試験			圧縮試験の撮影は試験体 1 本毎に写す。	試験の都度		
	打設状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>打設状況を撮影する。</li> <li>タンピング・鍍押さえの状況を撮影する。</li> <li>打設仕上がりの状況を撮影する。</li> </ul>	500 m <sup>2</sup> ごと			
打継ぎ	打継ぎ位置及び打継面の処理を撮影する。						
脱型後	出来形		<ul style="list-style-type: none"> <li>各部位の高さ、幅、厚さ、断熱材の厚さを撮影する。</li> <li>完了状況を撮影する。</li> </ul>	500 m <sup>2</sup> ごとに 種類ごと			
	(2) 工場製作 コンクリート (PC・PS)		取付	施工状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>躯体と取付金物との間隔、版相互の間隔が許容範囲内であることを確認できるように撮影する。</li> <li>設置状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと	
		6	鉄骨工事	工場加工	加工・溶接状況	開先の加工・測定作業、溶接作業、仕上げ作業を撮影する。	柱・大梁の種 類ごと
加工・溶接状況	開先の加工・測定作業、溶接作業、仕上げ作業を撮影する。	種類ごと					
製品検査	仕上げ完了後の鋼材の製品検査を撮影する。	検査ごと					
錆止め	塗料の規格、商標、施工状況等を撮影する。	柱・大梁の種 類ごと					
柱底ならし	施工状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねじ山の出、二重カット、座金等の取付状況を撮影する。</li> <li>無収縮モルタルの柱底ならしの状況を撮影する。</li> </ul>		種類ごと			
鉄骨建方	建方状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>建方及び計測の状況を撮影する。</li> <li>建方は段階及び全体の状況が解るように撮影する。</li> </ul>		各層ごと			

工 種		項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考
			現場溶接	溶接状況を撮影する。	各層ごと
		高力ボルト	材料	・規格、商標等が解るように撮影する。	径ごと
			施工状況	・錆の状況、摩擦面の処理を撮影する。 ・一次締め、マーキング、本締めの状況を撮影する。	種類ごと
		コンクリート埋込	埋込部分の状況	鉄骨・鉄筋の埋込部の組立状況を撮影する。	種類ごと
		耐火被覆	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	部位ごと
			吹付け状況	施工状況を撮影する。	部位ごと
			厚さ測定	厚さ確認ピンは厚さ別に色変えしてスケールとともに撮影し、確認ピンを差し込んだ測定状況を撮影する。	部位ごと
7	屋根、外壁工事	共通	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
		工法	施工状況	・下地の施工状況を撮影する ・ルーフィングや防水透湿シート等は重ね代が確認できるように撮影する。 ・吊り子の位置、とめ方、軒先、ルーフトレーン等の状況を撮影する。	屋根種類ごと 外壁4方向
8	防水工事	共通	共通	・各層毎の施工状況を撮影する。 ・材料毎の継手重ね長さ、及び塗布状況を撮影する。	材料ごと
			防水層下地	下地の仕上り状況、隅角部の丸面の状況を撮影する。	材料ごと
	(1)アスファルト防水	防水層	材料	使用材料の品種、規格、商標等を撮影する。	材料ごと
			施工状況	下地の施工状況を撮影する。	材料ごと
		保護層 (防水層押さえ)	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
			施工状況	・重ね長さ等の施工状況を撮影する。 ・保護モルタルの施工状況、及び厚さを撮影する。	材料ごと
		(伸縮目地)	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
			施工状況	目地の施工状況(間隔・厚さ)を撮影する。	材料ごと
	(押えコンクリート)	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと	
		施工状況	・立上り部分の配筋状況及び押えコンクリートの打設状況を撮影する。 ・金ゴテ押えの施工状況を撮影する。	材料ごと	
(2)合成高分子ルーフィング 防水	防水層	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと	
		施工状況	下地の施工状況を撮影する。	材料ごと	

工 種	項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考	
	(3)塗膜防水	防水層	材料	品種、規格、商標等を撮影する。	材料ごと
			施工状況	下地の施工状況を撮影する。	材料ごと
	(4)シーリング	共通	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
			施工状況	下地の処理状況を撮影する。	材料ごと
9	建具工事	共通	材料	建具の種類、形状などを撮影する。	材料ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
10	ブロック、パネル、金属工事	材料		品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
		遣り方		縦遣り方の状況を撮影する。	部位ごと
	(1)ブロック工事	まぐさ	施工状況	型枠、配筋の状況を撮影する。	部位ごと
	(2)パネル工事	パネル	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
(ALC・押出成形セメント板等)		パネル建込	施工状況を撮影する。	部位ごと	
	(3)金属工事	金属製品	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
11	木、断熱工事 (木工事)	共通	材料	規格、等級等を入れて撮影する。	材料ごと
		防腐剤	防腐剤	規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
			防腐剤防腐処理	施工状況を撮影する。	材料ごと
		施工状況		施工状況を撮影する。	部位ごと
	(断熱工事)	共通	施工状況	施工状況を撮影する。	工法ごと
			防湿層	施工状況を撮影する。	材料ごと
		成形断熱材	施工状況	土間コンクリートの敷込みでは、敷込み前の床の状況も撮影する。	材料ごと
		現場発泡断熱材	施工状況	・長さごとの色別計測ピンを撮影する。 ・発泡状況と発泡厚の計測状況を撮影する。	材料ごと
	現場吹付断熱	施工状況	吹付状況を撮影する。	材料ごと	
12	内装工事	共通	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
	軽量鉄骨工事 (天井・壁下地)	施工状況		施工状況を撮影する。	1室ごと
			開口部	開口部の補強の状況を撮影する。	1室ごと
	左官工事		下地処理	施工状況を撮影する。	部位工法ごと
			仕上げ	施工状況を撮影する。	部位ごと
	塗装工事		下地処理	施工状況を撮影する。	部位工法ごと
			仕上げ	施工状況を撮影する。	部位ごと
	内装工事		下地処理	施工状況を撮影する。	部位工法ごと
		仕上げ	施工状況を撮影する。	部位ごと	

工 種	項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考	
13	外構工事	アスファルト	下地	各層の転圧厚さが判るに撮影する。	1,000㎡ごと
	(1)舗装工事	舗装	完了	表層・基層の転圧が確認できるように撮影する。	1,000㎡ごと
	(2)排水工事		材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	材料ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
	(3)植栽工事		樹木、芝類	施工状況を撮影する。	種類ごと
			客土	厚さを撮影する。	種類ごと
	(4)擁壁・塀工事		材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	基礎から躯体寸法計測までの各工事は、鉄筋コンクリート工事に準じて撮影する。	種類ごと
	(5)屋外付帯工事	外構付帯構造物 類	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	深さ・基礎の状態を撮影する。	種類ごと
	(6)雑工事	縁石・境界石	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと

撮影基準

別表(3) 電気設備工事

工 種	項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考	
1	(1)配管工事	機材	各種機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
		施工状況	スリーブ等	型枠施工前の取付状況を撮影する。	種類ごと
			配管	<ul style="list-style-type: none"> <li>支持方法等が確認できるように撮影する。</li> <li>コンクリート打設前の床スラブ、柱型立上り配管等の布設状況を撮影する。</li> <li>建物引込配管の止水処理状況を撮影する。</li> <li>防火区画貫通部分の処置状況を撮影する。</li> </ul>	1室ごと
			ボックス等	鉄筋、型枠への固定方法、ボックスの寸法位置が確認できるように撮影する。	1室ごと
			盤類基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	種類ごと
			インサート	インサートの設置状況、断熱処理の状況を撮影する。	種別ごと
			幹線用ケーブルラック	施工状況を撮影する。	1室ごと
	(2)配線工事	機材	電線・ケーブル	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
		施工状況	配線	施工状況を撮影する	1室ごと
			防火区画等の貫通部	<ul style="list-style-type: none"> <li>貫通部不燃材の充填状況を撮影する。</li> <li>評定済工法による施工の場合はその工程と処理状況及び認定シール等を撮影する。</li> <li>不燃材による配管の場合は、配管の突出寸法が確認できるよう撮影する。</li> </ul>	箇所ごと
2	機材、器具取付工事 (配線、照明、分電盤、制御盤、通信・情報設備)	機材	各種器具	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
		施工状況		施工状況を撮影する。	種類ごと
		試験	各種	各種試験の状況を撮影する。	試験ごと
3	受変電設備工事	施工状況	基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	種類ごと
			搬入・据付	据付完了状況を撮影する。	種類ごと
4	発電設備工事 (発電機本体及び補機)	施工状況	基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	種類ごと
			組立、据付	据付完了状況を撮影する。	種類ごと

工 種		項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考
		試験	現場測定	各種試験運転、測定状況を撮影する。	試験ごと
5	接地工事	機材	接地極	品種、規格、商標等が確認できるよう撮影する。	種類ごと
		施工状況	接地極	・ 接地棒、設置線の施工状況を撮影する。 ・ 測定値を黒板に記入する	箇所ごと
			接地極埋設標	品種、規格、商標等が確認できるよう撮影する。	箇所ごと
6	地中配線工事	機材	ハンドホル・マソール	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	箇所ごと
		施工状況	ハンドホル・マソール	施工状況を撮影する。	箇所ごと
		施工状況 (地中管路)	掘削・布設	・ 掘削寸法、GLからの深さが確認できるよう撮影する。 ・ 施工状況を撮影する。	種類ごと
			埋戻し	埋設シート布設状況を撮影する。	種類ごと
			配線	配線の施工状況を撮影する。	種類ごと
			埋設標	設置状況がわかるよう撮影する。	箇所ごと
7	架空配線工事	機材	区分開閉器等	規格、容量等が確認できるよう撮影する。	箇所ごと
		施工状況	電柱及び支線	施工状況を撮影する。	箇所ごと
			区分開閉器等	取付け、接地工事状況を撮影する。	箇所ごと
			配線	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
8	雷保護設備工事	機材	避雷針等	支持金物取付用アンカーボルトの施工状況、支持金物取付状況及び突針と導線の接続状況を撮影する。	箇所ごと
		施工状況	避雷針等	施工状況を撮影する。	箇所ごと



撮影基準

別表(4) 機械設備工事

工 種	項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考	
1	共通工事	スリーブ・インサート工事	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
		配管工事	施工状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工状況を撮影する。</li> <li>防火区画貫通部分の処置状況を撮影する。</li> </ul>	1室ごと
			洩えい試験	試験状況、圧力計の目盛等が確認できるように撮影する。	試験ごと
		土工事	浄化槽地下タワ等	掘削、埋戻しの施工状況は建築工事に準ずる。	
			埋設管等	<ul style="list-style-type: none"> <li>掘削寸法、GLからの深さが確認できるよう撮影する。</li> <li>施工状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと
		コンクリート工事	躯体工事	建築工事に準ずる。	
			機械基礎工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	箇所ごと
		左官、塗装、鋼材工事	材料	建築工事に準ずる。	
			施工状況	建築工事に準ずる。	
		保温・防露工事	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	1室ごと
		防錆工事	材料	種類、規格等が確認できるよう撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	1室ごと
2	(1)ダクト工事	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと	
		施工状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工状況を撮影する。</li> <li>防火区画貫通部分の処置状況を撮影する。</li> </ul>	1室ごと	
	(2)配管工事	冷温水、蒸気、給油配管	施工状況	施工状況を撮影する。	1室ごと
	(3)暖房設備	ボイラー・温水機	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	箇所ごと
			据付状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>据付状況を撮影する。</li> <li>付属機器、配管接続、防振材等の取付状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと
			水圧試験	試験状況、圧力計の目盛等が確認できるように撮影する。	試験ごと
	(4)冷房設備	冷凍機、冷却塔、空気調和器等	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	箇所ごと

工 種	項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考	
		据付状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>据付状況を撮影する。</li> <li>付属機器、配管接続、防振材等の取付状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと	
	(5) 放熱器、送風機、換気扇	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと	
		据付状況	据付状況を撮影する。	種類ごと	
	(6) ポンプ	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと	
		据付状況	基礎、据付、付属機器取付状況を撮影する。	種類ごと	
	(7) タンク・ハッター	各種タンク	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			据付状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎の状況、据付、配管接続状況、状況を撮影する。</li> <li>地下埋設タンクの場合は土工事、矢板等土留、基礎コンクリート、配筋、コンクリート打設、タンク据付、防錆及び消防検査の状況を撮影する。</li> </ul>	種類ごと
		ハッター	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			据付状況	基礎、配管接続及び弁類との接続状況を撮影する。	種類ごと
	(8) 自動制御設備	機器	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	箇所ごと
			据付状況	据付状況を撮影する。	種類ごと
	3	衛生設備 (1) 屋外給水	配管	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。
施工状況			施工状況を撮影する。	種類ごと	
水圧試験			試験状況、圧力計の目盛等が確認できるように撮影する。	試験ごと	
(2) 屋内給水		配管	材料	種類、規格等が確認できるように撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	1室ごと
			水圧試験	試験状況、圧力計の目盛等が確認できるように撮影する。	試験ごと
		水槽	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設前の状況を撮影する。</li> <li>メーカー推奨のアンカーボルトを使用し、径、長さ、本数、取付状況が分かるように撮影する。</li> </ul>	箇所ごと
施工状況		施工状況を撮影する。	種類ごと		
(3) 屋外排水		配管、排水桝	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
(4) 屋内排水		配管	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	接続状況、スリーブ穴埋状況を撮影する。	1室ごと
(5) 衛生器具		衛生器具	機材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	据付、床レベル及び配管接続状況を撮影する。	種類ごと

工 種		項 目	撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項	備 考
	(6)給湯	配管	材料	屋内給水に準ずる。	
			施工状況	屋内給水に準ずる。	
		機器	施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
	(7)ガス	配管	材料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
			気密試験	試験内容を撮影する。	試験
	(8)消火	機器	材料	施工状況を撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	種類ごと
4	浄化槽	機器	材料	品種、規格、商標等を撮影する。	種類ごと
			施工状況	施工状況を入れて撮影する。	種類ごと
			試験	試験内容を撮影する。	試験ごと
		一般		建築工事当該事項による。	
5	さく井	掘削	施工状況	掘削状況、止水状況、サンプリング状況を撮影する。	箇所ごと
			完了	検尺状況、電気検層状況、仕上状況を撮影する。	箇所ごと
		ケーシング・ストレーナ	機材	品種、規格、商標等を撮影する。	箇所ごと
			挿入	施工状況を撮影する。	箇所ごと
		玉砂利	資材	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	箇所ごと
			充てん	深度、施工状況を撮影する。	箇所ごと
		ポンプ配管	機材	品種、規格、商標等を撮影する。	箇所ごと
		試験		試験状況を撮影する。	試験ごと
6	昇降機	機材	機材	品種、規格、商標等を撮影する。	1基ごと
			施工状況	施工状況を撮影する。	1基ごと
		試験		試験状況を撮影する。	試験ごと

別表(5)-1 建築工事完成写真撮影基準

区 分		撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項
1	建築工事	建物外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物外部4面及び屋上その他付帯施設一式</li> <li>・補助事業銘板のアップを撮影する。</li> </ul>
		建物内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要各室は原則として室内全景を撮るものとし、極力1~3枚程度の写真で必要箇所の撮影が可能となるように、撮影方向・方法を工夫する。</li> <li>・主要各室で同一のもの(例えば学校の普通教室)が多数ある場合は、代表的な室を撮影する。</li> </ul>
		舗装 排水 植栽 擁壁・塀 屋外付帯作工物 砂利敷 縁石・境界石	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景または代表的部分の写真</li> <li>・極力、全景を見通せる位置で撮影し、2方向の写真で全体を撮ることが出来るように、撮影方向・撮影高さ等を工夫する。</li> </ul>

別表(5)-2 電気設備工事完成写真撮影基準

区 分		撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項
1	共通事項	機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の機器(電灯、スピーカー、火災感知器等)が出来るだけ多く入るような床(地面)天井も含めて撮影する。</li> <li>・主要機器は設置場所、取付高さ及び取付状況等が判別できるよう適宜拡大(単独)撮影する。</li> <li>・撮影に際し機器類は、汚れ、傷、ドロ、土、砂、雪、木片、発成品等を除去し、完全に完成した状態で機器の外観を撮影する。</li> </ul>
2	電力設備工事	電灯	・特殊なもの(屋体、吹抜部の照明等)は別途撮影する。
		コンセント・スイッチ類	・単独に撮影することは避け、他の機器(インターホン、整合器等)を含めて撮影する。
		分電盤	・扉を閉じた状態で正面から盤名が見えるように床も含めて撮影する。
		外灯	・出来るだけ全景が見透せる場所を選定して器具の台数が分かるよう撮影し遠方の器具が小さくて判別しがたい場所は反対の方向からも撮影する。それ以外は単独に撮影する。
3	受変電設備工事	高低圧配電盤、 変圧器直流電源装置	・配電盤及び高圧盤等は全景が見通せる場所を選定して撮影し、変圧器、開閉器類及びその他の機器類も全景を撮影する。
		高低圧母線	・変圧器、その他機器類の撮影時に撮ったものでよい。
		閉鎖型受変電設備	・屋内外型を問わず閉鎖型の受電設備(キュービクル)は、別途基礎を含めた全景(正面、背面、側面)を撮影する。
		接地端子盤	・分電盤に準ずる。

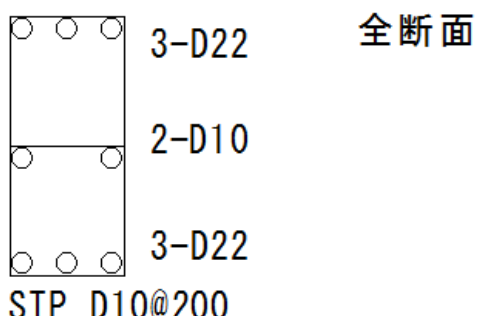
区 分		撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項
4	発電設備工事	発電盤、附属機器類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電機、機関、消音器等全体を見透す位置から撮影する。</li> <li>・冷却水タンク、始動用空気タンク、コンプレッサー、蓄電池架、オイルサービスタンク、給排気装置等を出来るだけ一括撮影する。</li> </ul>
5	拡声・テレビ共聴・電話・火災報知設備工事	放送機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増幅器、遠隔操作器、視聴機器等は設置状況が分かるように撮影する。</li> </ul>
		スピーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井付、壁付を問わず照明器具の撮影時に撮っていれば個々に撮ることを要しない。</li> <li>・屋内体育館等のメインスピーカー等は、別途撮影する。</li> </ul>
		附属器等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイク、マイクスタンド、カメラ等の機器類は函から出して、識別できる状態で一括撮影する。</li> </ul>
		アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナ(TV,FM,AM)、支持金物、ブラケットを含め一括撮影する。</li> </ul>
		TV 機器収容函	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤に準ずる。</li> </ul>
		電話及びインターホン機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換器、主装置、電池架、整流器等は全体を見透す位置から一括撮影し、必要に応じ個々に撮影する。</li> <li>・インターホン子材、電話器等は取付位置及び取付高さが大むね判別出来るよう撮影する。</li> <li>・端子盤類は分電盤に準ずる。</li> </ul>
		受信機、副受信機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室全体を見透す位置から一括撮影する。又、受信機、副合盤等は、設置状況が分かるように、別途撮影する。</li> </ul>
		感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具、スピーカーと共用する。</li> </ul>
		総合盤、ホールドコイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合盤は廊下など照明も含めて全体で一括撮影する。</li> <li>・ホールドコイルは工程写真に掲載する。</li> </ul>
6	雷保護設備工事	避雷突針、棟上導体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突針、支持マスト、ブラケット等取付状況が判別出来るよう一括撮影し、被写体が小さすぎる場合は望遠レンズ等を使用して撮影する。</li> <li>・棟上導体は設置状態が判別出来るように撮影する。</li> </ul>
		導線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・露出配線の場合は碍子を含めて壁面への取付状態が判別出来るように撮影する。</li> </ul>
		試験端子盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤に準ずる。</li> </ul>
7	架空配線工事	引込柱及び構内柱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引込柱は装柱品(気中開閉器等)を含め地上面から全体が入る位置を選択して撮影し、又、気中開閉器は別途撮影する。</li> <li>・構内柱は全電柱又は数本が見透せる場所を選定し、電柱の数量が判別出来るように撮影する。</li> </ul>
8	地中線路工事	ハンドホール、マンホール、ケーブル埋設標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓋をした状態で上方又は斜め上方からケーブル埋設標を含めたものとし、数量が判別出来るよう撮影する。</li> </ul>

別表(5)-3 機械設備工事完成写真撮影基準

区 分		撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項
1	共通事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の機器が出来るだけ多く入るような位置で床(又は地面)・天井・壁面も含めて撮影する。又、必要に応じて位置を変えて撮影する。</li> <li>・主要機器は設置場所、取付高さ及び取付状況等が判別出来るよう適宜拡大(単独)撮影する。</li> <li>・撮影に際し機器類は、汚れ、傷、ドロ、土、砂、雪、木片、発生品等を除去し、完全に完成した状態で機器の外観を撮影する。 (他業者の各工事が完全に完成した後に撮影すること)</li> </ul>
2	ボイラー室設備	ボイラー及び付属品 真空ポンプ・還水槽 各種ポンプ・ヘッダー 煙道・媒煙濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラー・真空ポンプ・還水槽は、全景が見通せる位置で撮影し、附属機器類、配管状況が判別できるようにする。</li> <li>・据付外観を明視できる位置で撮影する。</li> </ul>
3	暖房設備	放熱器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機ごとに据付外観、同一部屋の場合は数台一緒に撮影する。</li> <li>・他設備(換気設備等)が同じ面に入る場合はまとめて撮影する。</li> </ul>
4	換気設備	換気扇・送排風機・吹出口・ 吸込口・屋外フード・風除板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機種ごとに据付外観、同一部屋の場合はまとめて撮影する。</li> </ul>
5	空気調和設備	空調機・ろ過器・冷凍機・冷 却塔・各種ポンプ・吹出口・ 吸込口等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景が見通せる位置で撮影し、附属機器類・配管状況が判別できるように撮影する。</li> </ul>
6	給油設備	地下埋設オイルタンク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部スラブ全景を撮影する。</li> </ul>
		サービスタンク オイルポンプ 油面指示計・給油口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景を見通せる位置で撮影し、主要配管機器類の取付状況が判別できるように撮影する。</li> </ul>
7	自動制御設備	自動制御装置 自動制御盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景を見通せる位置で撮影し、各機器が判別できるように撮影する。</li> </ul>
8	給水設備	受水槽・高架水槽 加圧装置・主要配管 薬注装置・量水器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景を見通せる位置で撮影し、附属機器類、配管状況が判別できるように撮影する。</li> </ul>
9	排水設備	排水柵・ルーフドレン・通気 金物・阻集器類・排水ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置全景を見通せる位置で撮影し、排水柵は代表して蓋をした状態と内部を比較し撮影する。</li> </ul>
10	給湯設備	給湯ボイラー・貯湯槽・熱交 換器・循環ポンプ・膨張タン ク・湯沸器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景を見通せる位置で撮影する。・附属機器、配管状況が判別できるように撮影する。</li> </ul>
11	ガス設備	ガスメーター等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全景を見通せる位置で撮影する。</li> </ul>
12	ガス洩れ警報 設備	ガス感知器・中継器 集中監視盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付状態を明視できる位置で撮影する。</li> <li>・装置全体を見通せる位置で撮影する。</li> </ul>

区 分		撮 影 対 象	手 順 及 び 注 意 事 項
13	衛生器具設備	大便器・小便器・洗面器・掃除流し・附属金物類・鏡・各種水栓等	・取付状態を明視できる位置で撮影し、附属金物類を一緒に撮影する。
14	消火設備	ポンプ・加圧装置・屋内消火栓箱・屋外消火栓格納箱・その他主要機器	・全景を見通せる位置で撮影し、附属機器類、配管状況が判別できるように撮影する。
15	厨房設備	厨房器具類	・据付外観を明視できる位置で撮影する。
16	さく井	ポンプピット 井戸蓋及び内部機器類	・全景を見通せる位置で撮影し、内部機器類が判別できるように撮影する。
17	浄化槽	ユニット型	・上部躯体全景・制御盤・プロアー等主要機器を明視できるように撮影する。
		現場施工型	・主要機器、主要配管が明視できる位置で撮影する。
18	昇降機		・全景を見通せる位置で撮影し、各機器が判別できるように撮影する。

別図 黒板作成様式例

工 事 名	平成〇〇年度〇〇〇〇事業 〇〇農協〇〇〇〇工事		
撮 影 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		
撮影箇所	鉄筋工事（配筋検査）		
<p>地中梁 FG1 350×800</p>  <p>3-D22 全断面</p> <p>2-D10</p> <p>3-D22</p> <p>STP D10@200</p>			
施 工 者	株式会社〇〇〇〇 〇〇	立 会 者	ホクレン 〇〇

黒板記入項目 及び 記入例

- ・ 工 事 名 : 「平成〇〇年度〇〇〇事業〇〇農協〇〇工事」(2段書きとして良い)
- ・ 撮 影 日 : 「平成〇〇年〇〇月〇〇日」
- ・ 撮影箇所 : 「鉄筋工事（配筋検査）」  
(撮影目的となる施工状況や検査等の内容を要約して記載)
- ・ 摘 要 : ・ 「地中梁 (FG1) 350×800 全断面」  
(設計図書に表示された内容・形式で記載)  
・ 「上端筋 3-D22 下端筋 3-D22 腹筋 2-D10 STP D10@200」  
(撮影対象の設計寸法等記載、但し、略図添付でも可)
- ・ 施 工 者 : 「株式会社〇〇〇〇 〇〇」
- ・ 立 会 者 : 「ホクレン 〇〇」  
(工事監理者及び社内検査員が立ち会った場合に記載)